第9期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

市町村名	高石市
所属名	保健福祉部介護保険課
担当者名	塚 本

※第9期介護保険事業計画に定めた全ての取組と目標を記載くださいますようお願い致します。

	第9期介記	護保険事業計画に記載の 内	内容		R6年度(年度末実績)	
区分	現状と課題	第9期における	目標	実施内容	自己評価	課題と対応策
①自立支援、介 護予防、重度化 防止	〇在宅医療・介護連携の体制強化のため、連携を円滑に行えるよう体制整備のさらなる拡充	具体的な取組 高齢者が終末期まで地域で暮 らす地域包括ケアシステムの深 化・推進	(事業内容、指標等) ○医療と介護の連携体制の充実 ○生活支援サービスの充実 ○地域における支え合い、助け合いの推進 ○相談支援体制・情報提供の充実 ○介護保険サービスの充実	医療介護連携の促進として、多職種 連携会議や多職種連携研修を実施。 郵便局と包括連携協定を締結し、相 該窓口や地域での見守り体制の強化 に努めている。	0	市全体という大きな範囲ではなく、実用性 をふまえて地域ごとの医療介護連携を進 めていく必要がある。
①自立支援、介 護予防、重度化 防止	〇介護予防事業において利用意 向が高くなっている事業への支援 侵入数が事・丸ごとの「地域共生社 会」の実現に向けた取組の推進	高齢者一人ひとりの健幸のため の仕組みづくりの推進	〇健幸に暮らせるまちづくり 〇介護予防の推進 〇高齢者の生きがいづくり 〇健幸のまちづくりの取組	地域包括支援センターとの連携による介護予防の推進、いきいき百歳体 操や健幸づくり教室・健幸ポイント事 業ポランティアポイント事業等の実 施。	0	介護予防としての効果が期待される短期 集中介護予防支援事業の開始を検討
	○認知症予防・共生に向けた相 該窓口の充実 ○認知症への理解・知識の普及 啓発	認知症高齢者と高齢者の尊厳 の確保	○認知症高齢者対策の推進 ○高齢者の尊厳の確保と権利擁護 ○家族介護者への支援	認知症初期集中支援チームにおける 支援、認知症サポーターの整備。チー オレンジの立ち上げ、活動開始。認知 症月間に普及啓発活動。認知症ケア パスの改訂、周知。	©	チームオレンジの活動の拡大。認知症当 事者の声を聞く機会が必要。
①自立支援、介 護予防、重度化 防止	○ユニバーサルデザインの推進 ○関係機関と連携した災害等へ の安全確保	高齢者が住みやすい福祉のま ちづくりの推進	○多様な住まいの確保 ○ユニバーサルデザインの推進 ○安全・安心対策等の推進	要介護認定がない方にも介護予防の 観点から住宅改修費の助成をした。 また、主に千代田・高師浜・羽衣地区 の避難行動要支援者の計画を作成し た。	0	庁内の関係課の連携体制の構築
②介護給付等 費用の適正化	○介護従事者の資質の向上 ○適正なサービス提供への支援 ○サービスの質の向上と介護人 材の確保	要介護認定の適正化	認定申請のあった事業について、認定審査 会資料の不整合の有無等を確認する。必要 に応じて認定調査員、主治医等への確認も 行う。 目標:全事案	調査票の点検の実施、民間事業者へ の個別の指導。認定調査員研修によ る調査の適正化。	0	調査員研修は実施しているものの、調査 内容の平準化にはなかなかつながらな い。
②介護給付等 費用の適正化	○介護従事者の資質の向上 ○適正なサービス提供への支援 ○サービスの質の向上と介護人 材の確保	ケアプラン等点検	目標: 年24回	ケアブラン点検専門員が面談により、 ケアブラン点検を実施。また、住宅改 修等は専門職による内容の点検を実 施。必要な場合は現地調査を実施。	0	介護予防についてもケアブラン点検の実施を検討
②介護給付等 費用の適正化	○介護従事者の資質の向上 ○適正なサービス提供への支援 ○サービスの質の向上と介護人 材の確保	医療情報との突合・縦覧点検	国民健康保険団体連合会から提供される帳票を用いて点検を行う。	国保連に委託した点検に加えて、国 保連から提供される帳票からケアブラン点検の対象を抽出し、点検を実施。	Δ	一部の帳票しか活用できていない。
	川 ア記えしてください			1		<u> </u>